

H:「ヒストリーツアーズ」

I:「……の観点から振り返ろう！」

p.54 H  ②  ① 解説「唐館蘭館図絵巻」には、さまざまな人々が描かれている。オランダ人のほかにもアフリカ系と思われる人々を見つかることもできる。役人による品定めや秤での計量には武士が立ち会っている。 は、選択肢①が正解であるが、荷物を運んでいる日本人は武士ではない。幕府の厳重な管理の下で、商人を介した貿易の様子を生徒に実感させたい。

p.55 I 制限 海外の情報を日本に伝える 権威の向上

p.56 H  ②  ② 解説  の答えとして、多くの生徒は選択肢②と答えるだろう。図の中の樽にはさまざまな銘柄が書かれている。新川沿いには多くの蔵が立ち並び、店先には多くの酒樽が積まれている。江戸には各地から商品が運び込まれ、一大消費地となっていたが、それを支える海運と商人たちの活気を生徒に感じさせたい。また、江戸への一番乗りを競う新酒番船の活況の裏には、一番乗りの新酒をもてはやす江戸の消費者の購買意欲が垣間見える。

p.57 I 希薄に 海運

p.58 H  図① - ①、図② - ③  ①  ①・④ 解説  では、選択肢①と④を多くの生徒が選ぶだろう。ここでは、選択肢①や④の具体的な場面を生徒に考えさせたい。例えば、選択肢①では、幕府や藩の武士は読み書きができ、法令を町や村に文書で通知した。それを読めなければ農民や町人たちは不利益をこうむったであろう。また、訴訟や手紙、娯楽のための本に至るまで、文字を読み書きできることは庶民にとっても利益となった。選択肢④の場合、商人は当然のこととして、農民にとっては年貢の計算に、武士にとっても年貢や藩の財政、検地の際の測量など、さまざまな場面で算数は必要不可欠なものであった。

p.59 I さまざまな身分の人に 教育 西洋

p.60 H  ②  ③  ② 解説 初学の生徒は「清＝中国の皇帝」「中国＝漢民族の国」という素朴な固定観念をもっていると思われる。そのため、今回のチェックや図⑥を通じてそれらの思い込みをくつがえし、清朝の多民族性や皇帝のもつ多面的な性格について理解させたい。 では、選択肢①と②のそれぞれについて生徒に選んだ理由を答えさせるなかで、広大な多民族国家を維持するためには間接統治が有効であったことを理解させたい。また、図⑤や p.7 と p.17 の地図を利用して、清朝の領土が現在の中華人民共和国の領域とほぼ重なることも確認しておきたい。

p.61 I 解除 ヨーロッパ 広州

p.62 H  ②  ① 解説 まず  では、オスマン帝国のスルタンに対してヨーロッパの国であるフランスの使節が、畏敬の念をもって接していることに注目させたい。図①は 1755 年のもので、第 2 次ウィーン包囲(1683 年)およびカルロヴィッツ条約(1699 年)の後であるが、依然としてオスマン帝国が大国であったことを確認させる。次に  では、カピチュレーションの史料を生徒に読ませ、フラン

ス国民には、通商上の特権のみならず宗教や信仰の自由も保障されていたことを読みとらせたい。このようにオスマン帝国は、ヨーロッパ諸国に対して優位かつ寛容な立場をとっていたが、これらの内容がのちに植民地化の足がかりとされていく点にも余裕があれば触れておきたい。

I ウィーン フランス

p.64 H  ①  ②  ② 解説  で国王が処刑されていることを確認できれば、 でその理由として適切な選択肢②「議會を無視して政治を行おうとした」を選び、さらに国王と議会の考えが相容れなかった点から  で選択肢②「法律や議会の伝統を尊重する政治を望んだ」を選ぶことは論理的にも難しくないだろう。その背景として、チャールズ 1 世とイギリス議会がどのような考え方をもっていたのかを、図②から具体的に確認させたい。また、p.65 にあるように社会契約説が王権神授説を批判して革命を理論的に擁護し、名誉革命後にイギリスが立憲政治を確立させるまでの流れも確認しておきたい。

p.65 I 王権神授 社会契約

p.66 H  ②  ②  ① 解説  に入る前に、歴史総合では 17～18 世紀の英仏植民地戦争について詳しく学習しないため、p.63 の地図なども併用しながら七年戦争とその結果について最初に触れておくとういだろう。また、印紙についても生徒たちはなじみが薄いと思われるので、印紙法が制定された経緯とともに説明しておく、いっそう理解が深まると考えられる。「代表無くして課税無し」という言葉の意味についても、「代表(議員)を無くせば、課税も無くなる」などと教師の意図せぬ誤解をする生徒もいるので注意したい。 については選択肢①が正解ではあるが、すべての植民地人が独立を望んでいたわけではなく、p.67 の図⑧の「国王派」のように、イギリスによる支配を望む人々がいたことにも留意させる。

p.67 I 制限 人民主権 三権分立

p.68 H  ③  ①  ① 解説 フランス革命に関する定番の図である。 で「岩(税金)」に押しつぶされている◎が第三身分であることは直感的にも解答可能であるが、なぜそのように判断したのか、図①(旧制度、アンシャン＝レژیーム)から読み取れる情報(重税負担)を生徒に説明させるといいだろう。 についても選択肢①と解答することは容易だが、図②「フランス人権宣言」の内容および解説であらためて確認しておきたい。なお、この問題では A＝聖職者(第一身分)と B＝貴族(第二身分)を判別する必要はないが、服装から両者を判断できることをひと言補足しておくといいだろう。

p.69 I 平民 人権宣言 女性

p.70 H  ②  ②  ② 解説 図①はナポレオンの首席宮廷画家にもなったダヴィドの大作である。当時の絵画は宣伝・広告の役割も果たしており、「621cm×979cm」というサイズの大きさにも注目させたい(教室の黒板の大きさの何倍などと具体的にあればなおよい)。また、写真のように現実をありのままに描いたわけではなく、 ～ 